

皆様こんにちは。本校校長2年目になりました
永溝弘幸(ながみひろゆき)といます。

今年度から見崎中学校の学校教育目標を「ふるさとのよさを実感するとともに、自らよりよい社会の形成に貢献する子どもの育成」と新たにしました。これは、「義務教育9年間でこのようなこどもになってほしい、力をつけてほしいと」川崎小学校、忠見小学校、見崎中学校の3校共通の学校教育目標として設定しました。

「ふるさとのよさを実感する」とは、

川崎・忠見そして八女市のよさを更に感じて、誇りに思えるようになってほしいということです。

「よりよい社会の形成に貢献する」とは、

社会とは自分が所属する集団のことです。学習する班でも、学級でも、部活動でも、その集団をよりよくするために自分のよさを発揮して役に立ってほしいということです。

この目標を達成するためには次の三つのことが大切と考えています。

一つは、友達同士、お互いの違いやよさを認めあうこと。(人間関係作りの基本です)

二つは、人から言われたことをただするのではなく、自分から考えて行動すること。

三つは、その自分の考えを工夫して相手に伝えること。

この三つを目指すこども像としています。

さらに今年度から、見崎中学校、川崎小学校、忠見小学校の3校(見崎中ブロック)として、学校運営協議会(コミュニティスクール)と地域学校協働活動に取り組んでいきます。

これまでの3校連携を更に推進し、「何ができるようになるか」「何をまなばせるか」「どのようにまなばせるか」義務教育9年間のこどもの学びの連続性を重視していきます。また、地域学校協働活動等の諸活動を通して、「よりよい地域社会の形成に貢献する」(地域の役に立っていると実感できる)中学生の育成に取り組んでいきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

